



のがき

野垣あきこと
まちづくりカフェ

HPはコチラ



2025年10月15日 No.232

連絡先 090-9293-8710 ご相談もどうぞ！

決算特別委員会で質疑

区民の声が区政動かす「対話の区政」が前進しています

令和6年度の対話の取り組み(一部抜粋)

事業名	回	対話内容・テーマ	人数
多世代が利用できる公園づくり	4	公園の魅力や課題について(井草公園区)	49
聴くオフ・ミーティング	10	多文化共生、パートナーシップ制度、グリーンインフラ、住まいのセーフティネット等	181
子どもの意見聴取	31	区立小中学校における意見交換会、子どもワークショップ等	1461
参加型予算	1	ワークショップ 防災×〇〇	18
気候区民会議	6	気候変動対策についてのグループワーク	483
子どもの権利に関する条例	3	各団体における意見聴取	194
(仮称)デザイン会議	8	西荻、南阿佐ヶ谷、高円寺	448
グリーンインフラの推進	5	グリーンインフラ推進会議(意見交換)	158
区立施設マネジメント計画の取組案を検討するワークショップ	82	各地域での意見交換会、ワークショップ、オープンハウス等	1360

杉並区議会第3回定例会の令和6年度決算特別委員会で、党区議団は岸本区政の進める「対話の区政」について質疑を行いました。

区民約五千人が参加 130回を超える対話の場が

岸本区政のもと、「対話の区政運営」が着実に前進しています。

令和6年度には、子どもの居場所づくり基本方針の策定、「杉並区子どもの権利に関する条例」の具体化(子どもとの意見交換)、区立施設マネジメント計画に基づく3地域での住民ワークショップの開催、都市計画道路とまちづくりに関する(仮称)

杉並区政のもと、「対話の区政運営」が着実に前進しています。

令和6年度には、子どもの居場所づくり基本方針の策定、「杉並区子どもの権利に関する条例」の具体化(子どもとの意見交換)、区立施設マネジメント計画に基づく3地域での住民ワークショップの開催、都市計画道路とまちづくりに関する(仮称)

デザイン会議などが取り組まれました。下井草まちづくりラボや旧若杉小跡地のワークショップ等もこの一環です。

質疑では、これらの取り組みが年間130回を超え、延べ五千人以上の区民が参加したことが明らかにになりました。

また、区立施設マネジメント計画では、地域の区立施設のあり方

第56回杉並区区民意向調査
区政にかんする意識と実態より抜粋

- ◆区政に私ももっと参加してみたいと思いました。
- ◆区の情報が多くわかるようになり、区民との対話も増えていることはとても良いと思っています。
- ◆区民が区政に関われるような対話集会在数多く開催され、まち全体が少しずつ変わってきたように思います。
- ◆区民の多くが区政に関心を持つようになり、区民の意見を聴く姿勢が広がっている。
- ◆これからも区民の意見を聴きながら進めてください。

対話による前向きな変化
区民の実感としても広がる

を住民と行政が共に考え、計画を検討するプロセスに住民から歓迎の声が寄せられていることが示されました。

令和6年度の「杉並区区民意向調査」では、「住民参加の場の確保」の項目で「対話の区政」の前向きな変化を実感する声が寄せられています。この間の行政の取り組みが着実に地域に根付き始めています。引き続き、区民の区政参画の促進に向け力を尽くします。

党区議団 差別・排外主義を許さず「多文化共生」推進を

10月2日、日本共産党杉並区議団は、区議会決算特別委員会で多文化共生、ヘイトスピーチ対策について質問しました。

「多文化共生基本方針」策定 杉並区でも重要課題



党区議団は「これらのデマは言葉の暴力であり、差別や分断をおおる行為。外国人も地域の一員であり、デマや差別は許されない」という明確な姿勢を示すことを求めました。

具体的には、区のホームページに「デマや差別、ヘイトスピーチは許されません」と大きく明記し、法務省作成の啓発ポスターも掲示するなど、より明確に打ち出すことを提案しました。

各地でヘイト対策杉並区でも

川崎市では、差別的言動を繰り返した場合に最大50万円の罰金を科す条例を施行。大阪市は、ヘイトスピーチを行った団体・発言者名を市長が公表する制度を導入しています。

杉並区でも議会内外で排外的発言が見られるなか、人権侵害の実態を把握する通報制度や相談窓口の整備、全ての人の人権が尊重される実効性ある条例づくりを求めました。

区は「令和8年度の総合計画等のローリング作業の中で、具体的な議論を進めていきたい」と

と答えました。

多文化共生の拠点整備へ

外国人が抱える言葉の壁や生活習慣の違いによる困難に対応するため、相談機能の充実、日本語教室の拡充、地域交流の場づくりは急務です。地域に根ざした多文化共生拠点の整備を求めました。

外国人も日本人も、同じ地域で生活する仲間です。差別・排外主義を許さず、誰もが安心して暮らせる社会をつくるために、引き続き、党区議団とともに多文化共生の推進を訴えていきます。

野垣あきこ地域学習会

国産米が日本を救う



10月19日(日)10時～
井草地域区民センター

講師 東京農民連理事 加藤武市氏
会費100円

主催 野垣あきこ事務所、野垣あきこサポーターSI

先日、シネマ歌舞伎「源氏物語 六条御息所の巻」を観ました。

始めに六条御息所を演じる坂東玉三郎の解説的インタビュもあり、歌舞伎は随分と分かりやすくなったなと感じました。

私は国文学専攻だったので、「源氏物語」のどの巻が一番好きか」という話をよくしたことを思い出します。主人公の魅力を感じる人も多い中、紫式部の心境や当時の恋愛観について話すのも楽しいものでした。私は、色恋

あきこの部屋

だけに留まらない人間臭さや怪談的要素に魅力を感じ、夕顔と六条御息所がダントツだと主張していました。大人になった今、ジェンダー的な観点からも「源氏物語」を語り合いたいですね。

